

平成19年度 事業計画 1. 保存管理事業 1)

文化財建造物の保存管理維持保存管理に万全を期するため、重要文化財旧西田川郡役所.重要文化財旧渋谷家住宅.山形県文化財旧鶴岡警察署等の防災設備（自動火災報知設備、消火設備、避雷設備）や電気設備の保守点検並びにペンキ部分塗装、差茅、瓦葺替の小修理などを実施する。2)

名勝庭園の保存管理名勝酒井氏庭園の適正な環境を維持するため、除草、清掃、樹木剪定、整姿、刈込、防虫剤散布、雪吊り、雪囲い樹木用支柱の取替修理などを実施する。3) 博物館資料の保存管理軸装額装

資料、古文書の補修修理、まくりの表装、刀剣類美術品や庄内竿、民具等の手入れなど文化財資料の手入れなどを実施する。また破損が著しい絵

画作品を修復する。4) 松ヶ岡観覧施設と資料の保存管理 羽黒

町松ヶ岡の重要有形民俗文化財「米作り用具」収蔵庫の防災施設（消防設備等）保守点検を実施する。又、その収蔵庫や建物を賃借して開館している庄内農具館、運営受託の松ヶ岡開墾記念館の資料については、保存状況

を観察しながら日常管理で実施する。5) その他御隠殿・民具の蔵・

重要有形民俗文化財収蔵庫などの建造物の防災設備や電気設備の保守点検や小修理などを 実施する。夜間の防犯等は自衛警備員の常駐と警備保障会社の委託(防犯装置の機械警備と巡回による人的警備)によって行う。また万一に備えて消防訓練や地震などの災害時に対する予防、対策のマ

ニュアル化を進める。2. 展示事業 1) 常設展示（一部展示替）

2) 特別企画展示（別記平成19年度の展覧会案内をご覧ください。）

3. 普及教育事業 1) 後援会・シンポジウム 2)

特別企画展列品解説、ギャラリートーク 特別展、企画展の列品解

説、ギャラリートーク。3) 講座、教室○土曜講座 (博物館資料を用

いた歴史文化講座、演題は仮称) 7月21日 (土) 田中忠三郎氏「漆文

化と食生活一昔のくらしー青森の民俗事例より」 9月8日 (土) 加藤千

明氏「やきものの見方PARTII」 10月13日 (土) 長澤正機氏「大昔の

人の知恵に学ぶ一庄内の遺跡調査から」 11月10日 (土) 秋保 良氏 「武

士のくらし」○少年少女古典素読教室 (鶴岡市中央公民館・致道館文化振

興会議共催) 5月～10月 16回開講・講師: 致道館文化振興会議幹事・

当館職員○姉様人形教室 4～11月 16回開講 講師: 太田正子氏○中国

古典講座 4～12月 16回開講 講師: 当館常務理事○日本文学講座 5

～11月 7回開講 講師: 東山昭子氏○砂の創作品作り教室 5～7月

6回開講 講師: 加藤景一氏 4) .各流合同茶会 5月13日 (日)

表千家、裏千家、遠州、大日本茶道学会 5) .出版 館報「致道 第45

号」平成20年2月発行CHIDO MUSEUM LIBRARY 第3集 酒井忠治

著「庄内の文化ー歴史夜話 (仮題) 秋発行 6) .広報活動 各種事業

について、新聞テレビラジオ等の報道機関に対して資料提供や取材協力依

頼に努め、新聞広告や看板、ポスターの掲示、ダイレクトメール、インタ

ーネットなどを活用して周知をはかる。7) .その他 ○節句雛祭

り 平成20年3月31日 (土) ○博物館学芸員実習生の受

け入れ 9月3日～9月8日 ○ボランティア解説員 (展示の解説)

5月～10月 ○西郷隆盛・菅実秀両先生を偲ぶ会 平成20

年2月17日 ○全国藩校サミット in 鶴岡 (6月23日)

に協力 ○その他 4. 調査研究事業 1) .庄内地方の一般文化財調査研究 2) .庄内地方の歴史資料（藩学、藩政資料など）調査研究 3) .庄内地方の美術資料の調査（鶴岡アートフォーラムと共同） 4) .地域文化遺産の保存、活用システム並びに災害予防防災システムの研究に協力（東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター）

平成 1 9 年度収支予算書

平成 1 9 年 4 月 1 日～平成 2 0 年 3 月 3 1 日

科目	当期予算	前期予算	増減	科目	当期予算	前期予算
事業費支出	30,720	24,250	6,470	収入	133,705	162,000
管理費支出	47,600 1,964	52,860 1,946	-5,260 -	内借入金収入	65,000	74,500
借入金返済	70,450	92,900	-22,450			
当期支出計	150,734	171,956	-21,222	当期収入計	133,705	162,300

当期収支差額	(-17,029)	(-9,656)	(-7,372)	前期収支差額	17,029	9,65
次期繰越収支差	0	0	0			
計	150,734	171,956	-21,222	計	150,734	171,95

単位:千円

以上平成 19 年 2 月 6 日 於当館会議室 理事会評議員会

承認